



# 第65期 株主通信

上半期のご報告  
2021.4.1 ▶ 2021.9.30



## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、ここに当社グループの第65期上半期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

## 第65期 上半期ダイジェスト

本年上半期における当社グループを取り巻く環境は、経済活動再開の動きが見られるものの長期化する新型コロナウイルス感染症拡大の影響を依然として受けており、不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、新型コロナウイルス収束後に新たに生まれる社会的課題や物流構造の変化を見据え、2021年4月より中期経営計画「TRANCOM VISION 2025」をスタートしました。輸送能力の増大・向上やデジタル化の進化へ向けたシステム開発/他社とのデータ連携構築を行い、「サステナブルで効率的な輸送の実現」を目指し、取り組みを推進してまいります。

コア事業である物流情報サービス事業においては、国内輸送需要の持ち直しによる成約件数の増加に加え、中ロット貨物の取り扱い・中継輸送の強化による輸送モードの拡充を図りました。ロジスティクスマネジメント事業では、多種多様な輸送機能を持ち合わせた当社最大規模の物流センターを開設し、営業活動を強化・推進しました。

以上の結果、上半期の連結業績は、売上高797億円(前期比9.7%増)、営業利益39億円(前期比10.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益26億円(前期比1.5%増)となりました。

当社グループとしてこれまで培ってきた、ネットワークやノウハウを最大限活用し、アイデアとテクノロジーを組み合わせる「はこび」仕組みを創造することで、広く多くの企業に利用されるプラットフォーム提供に努めてまいります。

代表取締役会長

清水正久

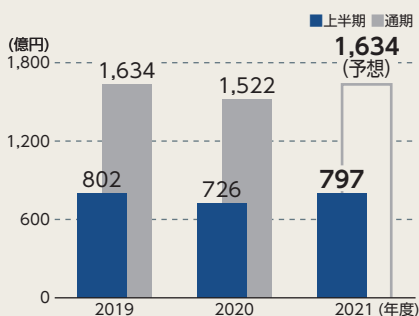
代表取締役社長執行役員

恒川穰



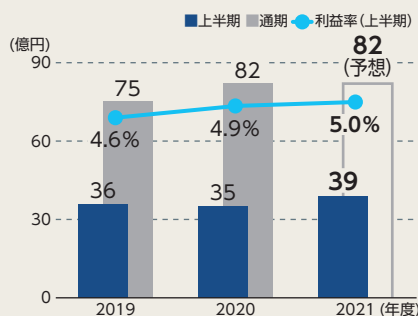
### 売上高

797 億円 前期比9.7%増



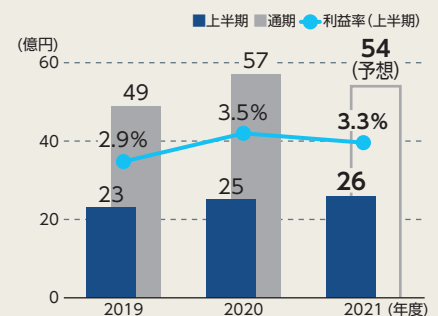
### 営業利益

39 億円 前期比10.2%増



### 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

26 億円 前期比1.5%増

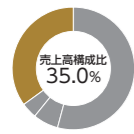


## セグメント別概況

### ロジスティクスマネジメント事業

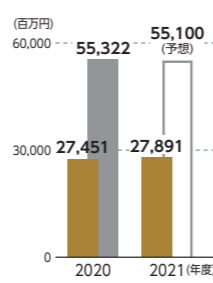
サプライチェーン全体の課題を分析・理解し、最適な解決策でトータルにサポート

売上高 **27,891**百万円 前期比**1.6%**増  
営業利益 **2,187**百万円 前期比**4.3%**増

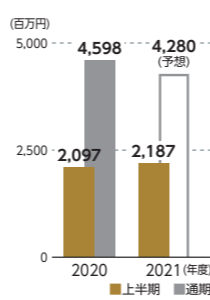


- 一部業務縮小・撤退はあったものの前期稼働拠点の寄与に加え、既存拠点の物量増加、生産性の更なる向上により増収増益
- 戦略拠点（関東大型拠点）の賃借に伴う先行投資費用の計上

#### 売上高



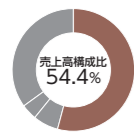
#### 営業利益



### 物流情報サービス事業

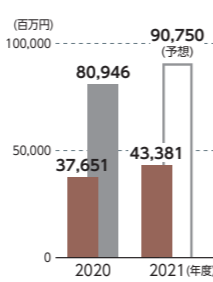
約13,000社のネットワークを活用し、空車情報と貨物情報をマッチング

売上高 **43,381**百万円 前期比**15.2%**増  
営業利益 **1,531**百万円 前期比**15.8%**増

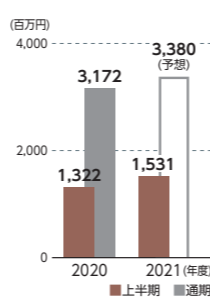


- 国内輸送需要の持ち直しにより、貨物情報数は前期比25.4%増加、成約件数は同19.1%増加となり、増収増益
- 中ロット貨物の取り扱い、中継輸送の強化

#### 売上高



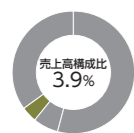
#### 営業利益



### インダストリアルサポート事業

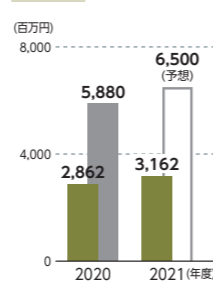
生産業務を請け負い、徹底した生産管理・品質管理を実施し、スムーズな運営をサポート

売上高 **3,162**百万円 前期比**10.5%**増  
営業利益 **162**百万円 前期比**244.9%**増

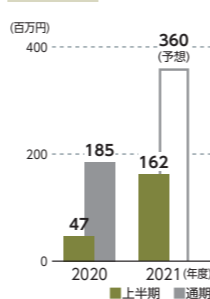


- 顧客の生産回復に加え、管理体制の適正化・一般管理費用の見直しを進めたことにより、増収増益
- 前期より事業構造改革を実施し、盤石な事業基盤を再構築

#### 売上高



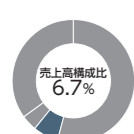
#### 営業利益



### その他

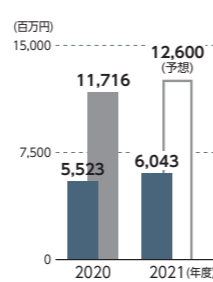
海外事業、情報システムの設計開発業務及び車両整備業務

売上高 **6,043**百万円 前期比**9.4%**増  
営業利益 **149**百万円 前期比**22.1%**減

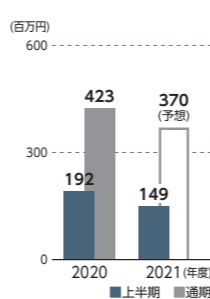


- 海外拠点における新規顧客獲得や業務の拡大により増収
- シンガポールのビルクリーニング事業の需要が減少したことなどにより減益

#### 売上高

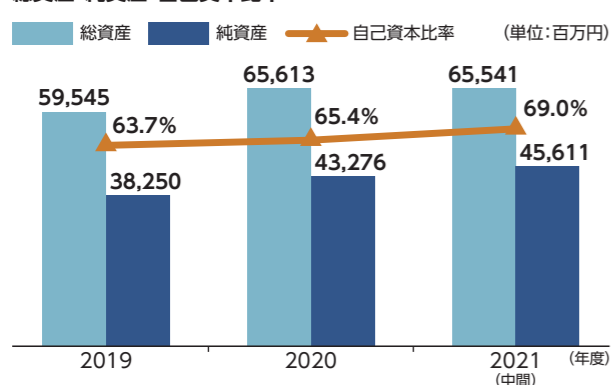


#### 営業利益

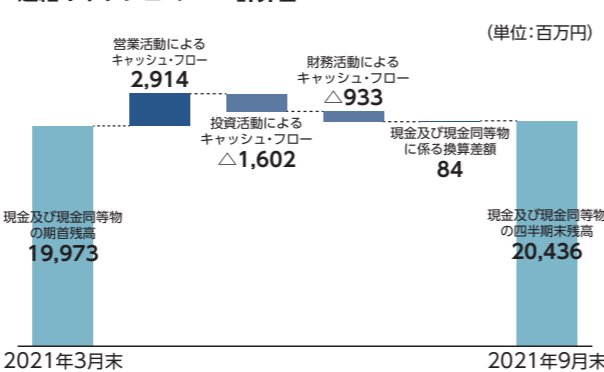


## 連結財務データ

### 総資産・純資産・自己資本比率



### 連結キャッシュ・フロー計算書



# 中期経営計画「TRANCOM VISION 2025」

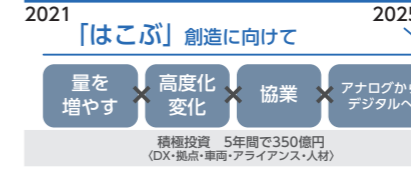
## 成長イメージと主要戦略

当社グループは、社会を支える効率的な物流の実現に向けて、2021年度から2025年度までの5か年を対象としたトランコムグループ中期経営計画「TRANCOM VISION 2025」を策定しました。

未来に向けて、重要な社会インフラを担う物流企業として、様々な社会課題の解決と抜本的な革新の実現を目指し、新たな挑戦を始めています。

その一環として国内の輸配送の物流領域で、「サステナブルで効率的な輸配送の実現」を目指します。これまで培ってきた、中長距離を中心とした貨物と空車のマッチング（求貨求車サービス）、物流センター運営などのネットワークやノウハウを最大限活用し、アイデアとテクノロジーを組み合わせ「はこび」仕組みを創造し、広く多くの企業に利用されるプラットフォーム提供に向けて注力してまいります。

### TRANCOM VISION 2025



### TRANCOM VISION 2030

「はこび」プラットフォームの提供  
広く多くの企業に利用されるプラットフォーム（＝最適に「はこび」がたち）の実現

### 主要戦略

<b>Transportへ注力</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>輸配送能力の増大・向上/多種多様な輸配送モードの拡充</li> <li>国内における取り扱う輸送量の増大</li> <li>求貨求車サービスの事業高度化</li> <li>他社との協業によるイノベーション強化</li> <li>デジタル化の進化に向けたシステム開発/他社とのデータ連携構築</li> </ol>
<b>既存事業の基盤構築</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ロジスティクスマネジメント事業の強固な事業基盤構築</li> <li>ASEAN地区での成長強化</li> </ol>
<b>成長基盤の再構築</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>人材・組織の更なる強化/多様化</li> <li>ESG/SDGs経営への進化</li> </ol>

## 「はこび」仕組みの創造に向けた具体的な取り組み

### 「はこび」機能を強化 ～自社中継拠点を開設～

「はこび」仕組みの創造に向けた戦略拠点として2021年5月に袋井営業所（静岡県袋井市）の既設営業所を拡張しました。フルトレーラーが旋回可能な駐車スペースを確保し、新設した事務所棟にはドライバーの休憩施設やランドリーを設置することで中継拠点としての機能を充実させました。袋井ICから約300mと非常にアクセスも優れており、フルトレーラーのスイッチ方式による運行の中継地点として活用しています。今後もいろいろな形で拠点活用方法を考え「はこび」機能の強化に取り組んでまいります。



▲大型車両が乗り入れ可能な広い駐車スペースを確保 ▲全長25mのフルトレーラー

### 物流センター業務の自動化

2021年5月にケースピッキング自動化システムを加須ロジスティクスセンター（埼玉県加須市）に導入しました。従来フォークリフトで行っていた出庫作業を自動化し、省人化を実現しました。コロナ禍の影響で現場作業の人手不足感が見えにくくなっていますが、構造的な労働力不足は進んでいます。自動化システムを導入することで作業負担を低減させ、人手不足の解消や労働環境改善に努めてまいります。



▲AGV（床上を走る搬送車） ▲RGV（レール上を走る搬送車）

## 「TRANCOM VISION 2025」のロゴを作成しました

### ▼ロゴ作成のコンセプト

「C」からはじまる「はこび」の世界観

「創造する」という意味の“Creating”の頭文字の「C」をシンボルとして表現しています。

「C」の線の重なり

「C」の文字を複線や破線とし、複合的な「はこび」を例えています。また、力強く前に進む車輪のような躍動を表しています。

「C」の書き順

「C」の書き順として、輸送の発着や一気通貫をイメージし、調達からラストワンマイルまで完結という意味を持たせています。



▲中期経営計画ロゴ

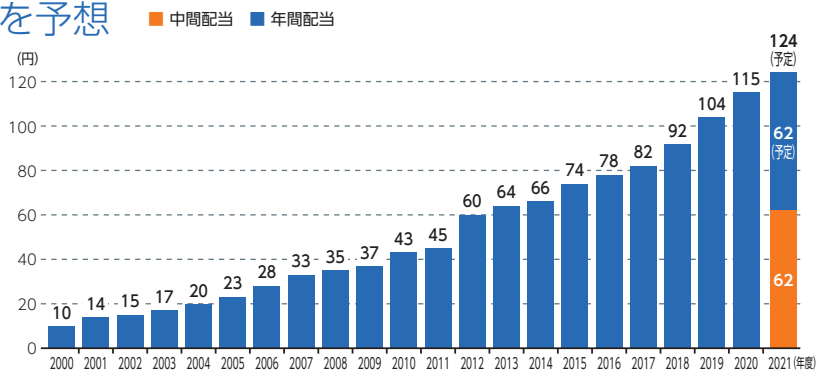


▲新デザインセミトレーラー

## 株主還元 — 21期連続の増配を予想

当社は、株主の皆様への利益還元を重要施策の一つとして認識し、経営基盤・財務体質強化に向けた内部留保の確保に留意しつつ、財務状況及び連結業績等を総合的に勘案し、継続的に安定した配当を実施することを基本方針としております。

当期の中間配当金につきましては、上記方針のもと前事業年度に引き続き増配を実施し、1株当たり中間配当金を前期と比べ7円増配し、62円としました。年間配当金につきましては、前期と比べ1株当たり9円増配し、124円を予定しております。



## 株式情報 (2021年9月30日現在)

### 株式の状況

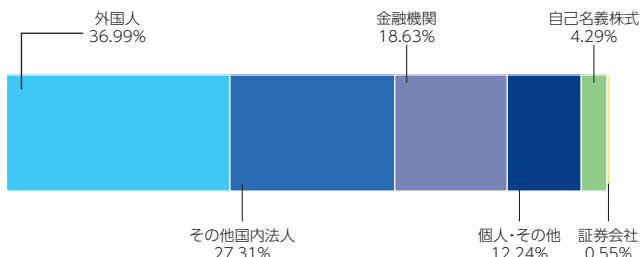
発行可能株式総数 . . . . . 40,000,000株  
 発行済株式総数 . . . . . 10,324,150株  
 株 主 数 . . . . . 2,947名

### 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社AICOH	2,694	27.2
ピーピーエイチフォアフィデリティロープライズストックファンド (プリンシパルオールセクターサポートフォリオ)	766	7.7
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	758	7.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	753	7.6
MSCO CUSTOMER SECURITIES	532	5.3
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505224	309	3.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	238	2.4
GOVERNMENT OF NORWAY	210	2.1
ピーピーエイチ フィデリティ グループ トラスト ベネフィット プリンシパルオールセクターサポートフォリオ	133	1.3
トランコム従業員持株会	119	1.2

(注) 1. 上記のほか、当社は自己株式442千株を保有しており、持株比率の算定においては、自己株式を除いて算出しております。  
 2. ラネット株式会社は、2021年10月1日に、株式会社AICOHに商号を変更しております。

### 所有者別株式分布



## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主 確定日 3月31日

中間配当金受領株主 確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 株式会社みずほ信託銀行 証券代行部  
 特別口座管理機関

同 連 絡 先 〒168-8507  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 TEL 0120-288-324 (通話無料)  
 (ご利用時間 9:00～17:00 土・日・休日を除く)

上場証券取引所 東京証券取引所、名古屋証券取引所

公 告 の 方 法 電子公告により行います。  
 公告掲載URL  
<https://www.trancom.co.jp>

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

## ホームページのご案内

トランコム

検索



[www.trancom.co.jp](http://www.trancom.co.jp)



[www.trancom.co.jp/ir](http://www.trancom.co.jp/ir)

当社のホームページでは会社概要・事業内容・財務情報などの最新情報や詳細情報をご参照いただけます。

## トランコム株式会社

〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-19-30  
 マザックアートプラザ15F  
 TEL:052-939-2011 (代表)

